異常気象による災害対策の強化を求める要望書

先の台風１９号は、広域にわたり甚大な被害をもたらし、本市においても、内水氾濫による床上浸水や床下浸水が多発しました。芝川・新芝川が氾濫危険水位に達し、約１２，０００人の市民が、かつてない規模で学校や公民館等に避難されました。本来であれば、数十年に一度といわれるような風水害が、昨今、頻発しています。温帯低気圧が、台風並みに猛威をふるい、集中豪雨や竜巻による洪水や土砂災害により多くの人命が失われ、家屋や公共施設、農作物にも甚大な被害がもたらされています。こうした異常気象による風水害が、地球温暖化の要因から今後も続くと予想されており、災害対策の観点を抜本的に見直し、地震のみならず、風水害から市民の安全安心を守る施策を講ずる必要があり、左記の事項について強く要望いたします。

記

一、風水害時の避難対策の強化

◇風水害時の避難所運営マニュアルの見直し

　①浸水常襲地域の小中学校避難所の対策

　②公民館を避難所に指定し、備蓄材の拡充

　③学校職員・市職員・町会・ＰＴＡ等の運営役員の連携強化（運営スタッフ証等の作成）

　④高齢者・障害者の方々の避難所までの移動サポート体制の構築

　⑤避難所の備蓄材の拡充（エアマットや授乳・更衣室用テントの導入）

⑥避難された方に災害情報を伝えるモニター画面の設置

⑦浸水地域のマイカーの避難場所の確保

⑧県立高校の避難所としての機能強化

◇風水害時の避難情報伝達方法の整備

　①豪雨や強風時は、防災行政無線が聞き取れないため、防災ラジオの導入

　②きらり川口情報メールの配信地域の細分化と外国語での配信

二、台風時期に土嚢ステーション（公園等の置き場）の設置

三、災害廃棄物の一時置き場の指定と回収方法の整備

四、内水氾濫解消に向けた対策の強化

　　　　　　　令和元年十一月二十九日

　　　　　　　公明党川口市議会議員団　　　　団長　　　大関　修克

川口市長　　奥ノ木　信夫　様